

1. 動機

昨年度の課題研究で先輩の発表を見て、プロジェクションマッピングに強く興味を持ったので、この課題にしました。また、プロジェクションマッピングは昨年度から始められた研究テーマで、今までにない作品を制作してみたかったのでプロジェクションマッピングにしました。

2. 参考知識

＜ プロジェクションマッピングとは ＞

映画館のような専用のスクリーンではなく、凹凸のある壁面や、建築物・家具など立体物の表面にプロジェクターで映像を投影する手法。

＜ AfterEffects とは ＞

映像を加工したり、エフェクトを追加したり、何もない無の空間（0の状態）から映像を作り出す事ができる、業界で最も支持されているソフトウェア。After Effectsには、レイヤーに適用する数多くのエフェクト機能が用意されている。エフェクトをかけることで色の補正やイメージの変形、新しいビジュアルの追加などを行うことが可能。映像の編集作業やCM制作、アニメ・ゲームのコンテンツ制作など、幅広いジャンルの現場で利用されている。

今回の制作では音楽を除くすべての編集をAfterEffectsで行った。

3. 使用したソフトウェア、機器、楽曲

- ・ Adobe After Effects CS6
- ・ Adobe Audition CS6
- ・ プロジェクター
- ・ ビデオカメラ
- ・ 『Candy Girl』 - Snail's House

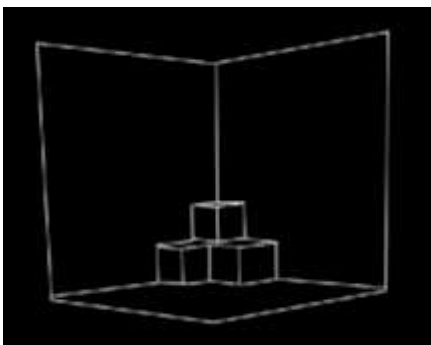
4. 作業内容

① 物体のマスクを作成

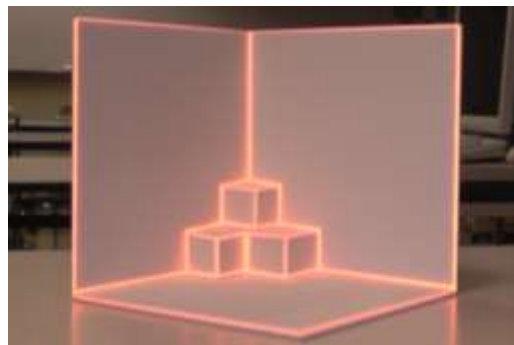
投影しながらアンカーポイントを投影物に合わせていく。このとき、プロジェクターから投影された画面でマスクしていく。

作業の都合上、外側の輪郭と内側の線を別のレイヤーで作成する。

実際に投影したマスクは、見えやすくするために線の色を赤色に変更している。



制作したマスク



実際に投影したマスク

② 動画の制作

曲が長かったので、5つに分けて制作した。

投影する動画を実際に作る。波形などの細かいエフェクトは、③で調整を行う。



制作した動画の一部



実際に投影したもの

③ 投影と撮影

②で制作した動画を投影する。マスクがずれている部分は調整を行う。

映像の歪みを少なくするため、ビデオカメラのレンズをできるだけプロジェクターのレンズとできるだけ同じ角度から撮影する。

投影物



プロジェクター

ビデオカメラ

④ 編集

5つの動画をそれぞれ分けて撮影。撮影した動画に色調補正を加え、楽曲と合わせて出力する。

5. 参考文献

- ・プロジェクション・マッピング入門（尾崎マサル：著）

6. 感想

この1年間振り返ると、本当にあつという間でした。初めて1年間かけてひとつの作品を制作し、学んだことや反省点、気づいたことがとても多かったです。実際に課題研究をやってみるとなかなか思い通りに進まず、最初は本当に苦戦ばかりでした。ですが、それを乗り越えると達成感があったので、やっていて楽しかったです。止まったり戻ったりしながらも、1歩1歩課題研究を進めていくことに課題研究の楽しさを感じる日々でした。